



## 昨今大病院事情 パート2

私と前後して、弊社部長の娘さんが脳外科の手術を受けるとなると、高額医療負担制度が話題となりました。医療費が高額になった場合に一ヶ月の上限を年収ベースで決めて、それ以上の部分を健康保険が支払ってくれるという、ありがたい制度です。年収500万円の人が当月に100万円の医療費がかかった場合、健康保険が3割負担で30万円の支払いかと思いきや、この制度を使うと約9万円が上限となってそれだけの支払いでよいというものです。利用者側には『ありがたい制度』はいいのですが、91万円も健康保険が負担してくれているというのは、こりゃ保険制度がピンチになるわなあ。

私の場合は、手術費用だけで30万円ほどの請求額でした。もちろん高額医療負担制度を使った上での支払いでしたが、これを逆算すると、手術費用は所要時間3~4時間で130万円ほど？と言う計算になり、大御所先生の手術ってのはお高いものですね！さらに国の難病指定の病気なので、大阪府からさらに幾らかの給付が見込まれ、不幸中の幸いってところでしょうか。

お国はこの医療費の高騰に関して相当に四苦八苦していると思われます。手術後の縫合や抜糸などは、それ専門に教育レッスンされた『看護師』が当たるようなのです。時給単価の高い医師はその目的の手術箇所だけに手をくだし、患部の対処が終わった後はすぐに次の手術へ。その後は縫合専門の看護師にやらせるというのです。少しの時間でも高給取りの医者にやらせるより、時給単価の安い者にやらせるという分業となっているのには驚きました。これ、お国の指導だそうです。まあ女の子ですし、専門職でその方が綺麗に縫い付けてくれそうで不安はありませんでしたが…。と言うよりも、事はすでに終わってしまっておりましたが…。

お盆後の北野病院は、3階までの外来患者はすこぶる大盛況ですが、入院患者が少なくベッドが空いているように見え、経営上大丈夫か？と思える程でした。毎晩、救急車で運び込まれる人は7~8人は居るようで、それだけみても入院患者は増えそうなはずですが。ところが、私も3週間の入院予定が2週間になってでてきました。どうもお国の診療報酬上、2週間を超える入院となると病院の収支が見合わなくなるようで、出来るだけ早く退院させるというのがどちらさんも方針のようです。急性期病院とはこうしたもので、そもそも急性期とは発症して急激に不健康状態となることを言い、その目安が2週間という事ようです。なんだか勝手に2週間と決められているのは患者側は不都合を感じますが、これとてお国の厳しい懐事情といえそうです。あんまり暇なので、私は3週間はよう居られませんでしたわ…。(患者側の都合)

## 健康法師の独り言 パート90

頸椎の手術後、独立したりハピリススタジオ(大病院の付属施設ではない)にお世話になっていきます。以前からゴルフのためにピラティスに通っていましたが、その現場が『脳卒中専門リハビリテーション』というスタジオです。西成区天下茶屋の駅南東あるのですが、その核となっているのが整形外科医の『ひろクリニック』です。マンシヨンの一角がクリニックなのですが、別塔も立っていて、鍼灸院・整体・整骨院・薬局・介護系のデイサービスなど医療関係の施設が色々やり手のよう。普通は西洋医学の先生は、鍼灸やらピラティスやら整体などは効果を認めず無視されるお医者さんが多いはずですが、ひろゴン先生はこうした民間療法なども効果ありと考えられているようで、なかなかの人物と推察されます。(実際にはお会いしておらず、社員を一人整形外科に送り込んだためしはありませんが、ジャッジは明確だった様です。)

『資格や治療哲学にとらわれず、より良いものを提供していくために、互いの知識と技術を共有し、皆様が生涯にわたり元気であるよう健康管理を担う、日本一患者満足度の高い手技療法グループをを目指す。』というのがこのグループの理念のようで、感心感心…。ここでのリハビリ先生の施術はすこぶる高いスキルがあり、やさしく体を触る程度で体が揺るん出来て抜群です。体の構造や部位に関してすこぶる勉強されていて、大病院にたくさん居る理学療法士や作業療法士とは技術が格段に違ってきます。

私の場合は、心齋橋と工場との間にちょうど天下茶屋があるので便利にさせていただきました。折にはご相談ください。



## 編集後記

皆さま、今回の通信はいかがでしたか？なんと記念すべき松前屋通信100号が発行される日がくるとは、…、思い返せば、ネタがない！と半泣き状態の時もありましたが、なんとかここまでやってきました！200号に向けて、また頑張ります~♪ 松村